

# 日遊協秋季セミナー講演

## 「貯蓄から投資へ」の促進を

### 増井喜一郎氏「経済と証券」で強調

日遊協秋季セミナーは9月17日、第3回定例理事会の後、川奈ホテルのバンケットホールで行われた。関係団体から来賓10人が招かれた。公益財団法人日本証券経済研究所理事長、増井喜一郎氏が「今後の日本経済と証券市場、証券規制、業界団体での経験から」と題して講演した。増井氏は元金融庁総務企画局長で、元日本証券業協会副会長。

増井氏は、①どうしたら証券市場が発展するか ②どうしたら証券業界が信頼を得られるか——の2点について約1時間の講演を行った。日本の証券市場の発展のためには、銀行へ金融リスクが集中している従来の金融構造の歪みを是正することが肝要で、そのためには

「貯蓄から投資へ」の動きを促進させる。資金調達サイド(企業サイド)では「銀行貸出から株式債権へ」の流れを促進させるため、インターネットを通して小口の資金を募るクラウドファンディング等の新しい資金調達の展開があり、また、企業のコポレートガバナンスの努力などが一層必要となる。

### NISAの伸びに期待

一方、資金供給サイド(個人サイド)では「預貯金から投資商品へ」のシフトを目指しているが、個人の保有金融資産構成の国際比較表(2014年)によると、日本人の場合、現金・預金の割合が52%で圧倒的に多く、株式・投信・債権は9%しかない。アメリカでは現金・預金13%に対して株式・投信・債権は33%に上る。この株式・投信・債権の割合を欧州並みの17%に引き上げるのが当面の目標という。これに関して、昨年からは始まった少額投資非課税制度NISAの爆発的な伸びが一つの期

### 証券界の信頼性が重要

待となっている。ただ、国民に投資へシフトしてもらうためには証券業界への信頼性が重要だが、過去の業界はリクルート事件、総会屋利益供与、インサイダー取引等の不祥事に事欠かない。そこで日本証券業協会は04年から自主規制会議を設けて信頼回復を図っている。自主規制会議は半数が外部の公益委員で構成され、自律性、公正性、機動性を有している。増井氏は「まだ道半ばで、これからも地道にやっていくしかない。制度の透明性を一層高める努力が重要だと思う」と結んだ。

### 和やかに懇親会

セミナーのあと、懇親会に移った。庄司孝輝会長はあいさつで、「日本証券業協会の自主規制会議の組織・機能から、これからの日遊協の在り方についてヒントをいただいた」と述べた。松田高志同

### 10月の行事予定

1日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(本部)
	15:00~17:00	依存問題PT兼WG(本部)
2日(金)	13:30~14:30	広報誌編集会議(本部)
5日(月)	16:00~17:30	リサイクル推進委員会・懇親会(日工組)
6日(火)	14:30~	登録資格審査委員会(本部)
8日(木)	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会(本部)
9日(金)	15:30~17:30	人材育成委員会(本部)
14日(水)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(大阪ガーデンパレス)
	13:30~15:00	貯玉補償基金理事会(本部)
15日(木)	14:30~19:30	警察庁連絡会議(グランドアーク半蔵門)
16日(金)	10:00~17:30	13:30~15:30
		遊技産業PRWG(日工組)
19日(月)	15:00~17:00	中古機流通協議会(全商協)
20日(火)	15:30~17:30	遊技機委員会(本部)
21日(水)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(ベルサル神田)
	13:30~14:30	不正対策会議(本部)
	15:00~17:00	流通勉強会(本部)
22日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(ベルサル神田)
	15:30~17:30	広報調査委員会(本部)
23日(金)	16:00~17:00	東京都・関東支部役員会議(本部)
28日(水)	13:00~17:30	依存対策DVD撮影インタビュー(本部)
29日(木)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(大阪ガーデンパレス)
	7:30~16:00	日遊協親睦チャリティゴルフコンペ(太平洋クラブ成田コース)
30日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(大阪ガーデンパレス)

OCTOBER

友会前代表理事(日遊協特別参与)の乾杯の発声で懇親会が始まった。□セミナーと懇親会の来賓

(順不同、敬称略)

内ヶ島隆寛(日工組理事)、橘高照忠(日電協常務理事)、竹村和巳(補給組合事務局長)、古宮重雄(自工会理事)、松田高志(同友会前代表理事)、古屋孝章(同事務局長)、香月義春(余暇進常務理事)、田中弘(同事務局長)、加藤英則(PCS A副代表理事)、恵良道信(PSA専務理事)



## 活性化委員会・遊技機検討WG

### 全日遊連修正案を協議

#### 「定量制」補足説明付け活性化委へ

遊技産業活性化委員会の遊技機検討ワーキンググループ(WG)が9月2日、全日遊連会議室で開かれた。全日遊連、日遊協、日工組、同友会、余暇進、PCSAが出席した。依存問題対策の1つに挙げられている定量制営業を行うにあたって、ガイドラインを検討した。4月の活性化委員会に日遊協から最初のガイドライン案が提示され、それを受けて全日遊連の修正案が出されており、この日は全日遊連の修正案について審議した。

修正案は各地域での実情の違いなどを考慮し、日遊協案より簡素化してある。活性化委員会へは全日遊連の修正案を提出し、危惧されるトラブルなど補足的な説明を別紙として付ける方向を確認した。別紙の内容については各団体が意見を申し合せて詰める。

修正案による定量制営業の流れは、①定量制の遊技台で遊技開始 ②大当たりで出玉獲得 ③あらかじめ指定された出玉数に到達した



定量制営業のガイドラインなどを審議した遊技機検討WG

時点でホール従業員が遊技客に声をかけを行う ④当該遊技台を札等で「打ち止め台」であることを明確にし、遊技客は出玉を交換する(または出玉を持って台移動) ⑤「打ち止め台」が、大当たり・確変・ART等の通常状態でなかった場合は、リセットして開放する——となっている。さらに注意事項として、警察庁通知や都道府県公安委員会の指導を遵守し、著しく射幸性をそそる広告宣伝を決して行

わない等、4項目を挙げている。**新遊パチの仕様再確認**

新・遊パチ(仮称)について、仕様を改めて確認した。日工組は「確率が160分の1以内」「平均的な稼働において玉単価1円を超えない(4円玉貸し)」「初心者が初めて遊技しても分かりやすい」——を新・遊パチの仕様としている。新・遊パチのネーミングについては、活性化委員会の遊技産業PR・WGが検討している。

日工組は「多種多様な遊技機の開発状況を、5月の遊技機検討WGで組合員企業へのアンケート調査結果として報告したが、近くもう一度調査して最新情報を確認することになった。

### 遊技機委員会

9月15日  
本部長会議室  
出席委員等20人

#### スペースなど具体的に

##### 「ニコ超」の日程が決まり

「定量制営業ガイドライン」に関して、日遊協案に対する全日遊連案が前回会議で提案されているが、遊技機検討WGにおいて実際の運用のために細目を詰める必要があると協議された。遊技機委員会と

してもそれぞれ考えられる項目について話合っていくことになった。

ドワンゴ主催の「ニコニコ超会議2016」への日遊協ブース出展を確認しているが、日程、場所が正式に決まった。

▽日時  
2018年4月29日(金・祝)  
10時~18時  
2018年4月30日(土)  
10時~17時  
▽場所  
幕張メッセ1~11ホール、  
イベントホール、国際会議場

遊技機委員会としては、ブースの広さを20コマから30コマ確保する予定で、今後検討を続ける。昨年は20コマの広さで、1コマは3×3mで30万円、計600万円のスペースだった。30コマだと900万円の費用になるが、他のブースと接触せず、四方向がオープンになる利点がある。



ニコ超など協議した遊技機委員会▶



# 女性活躍推進フォーラム 人材育成委

## 「自ら風土を変える思いを」 21人参加、活発な勉強スタート

人材育成委員会の今年度第1回「女性活躍推進フォーラム」が9月11日、東京・日本橋三洋グループ

ホール企業を中心に、女性正規社員21人（1社1人）が参加した。

プビル8階の会議室で開かれた。いい風が吹いていない。だから女性のパワーが必要とされていることを強く皆様にもご認識いただきたい。そして皆様はこの業界を変えていこうという考えを、この集まりで生み出していきたい。そして実際に企画を会社を持って帰っていただきたい。皆様自身が自社の風土を変えていく、こういう強い思いをもって参加してください。また、来ていただいたからには、皆様の実務に役立つような企画も用意しました。自分を高め、ネットワークをつくり、自社を変えていく、これがこのフォーラムの趣旨です」とあいさつした。

冒頭、前田竜哉委員長は「8月末に女性活躍推進法が成立しました。女性が企業の中でどうやったら活躍できるか、それを本気でやれど、国が義務として制定したわけです。そんな時代の後押しを受けてこのフォーラムが開かれました

さらに、「この女性活躍推進フォーラムは、2020年まで



これから半年間のお付き合いとなるフォーラムの参加者たちと人材育成委員会の委員たち。前列右端が前田委員長、左端が総会司会の竹内直子委員、中央が講演した大熊氏

平成27年度 第1回 女性活躍推進フォーラム 平成27年9月11日（金）

テーマ	グループ	企業名	名前
キャリアプランニング	A	(株)善都	森月 綾美
		(株)オータ	鈴木 麻衣
		(株)マルハン	◎入野谷華枝
	B	愛和食品(株)	田島 歩実
		(株)日進	宮城 彩奈
		(株)ヒカリスシステム	川上 静佳
ワークライフバランス	C	東和産業(株)	◎大西 沙樹
		ジャパンネットワークシステム(株)	湊 奈津希
		(株)プロテラス	稲葉 圭
	D	ピーアークホールディングス(株)	杉本志保里
		(株)ユーコー	永吉 愛理
		(株)平成観光	高橋 佳澄
	E	日拓ホーム(株)	◎藤森 由紀
		(株)ABC	◎井上 美鈴
		グローリー(株)	佐々木文子
		NEXUS(株)	村上 友美
		(株)ウエスタンコーポレーション	松本 直子
		(株)ジャパンニューアルファ	小椋 理恵
◎=リーダー	(株)ニラク	◎森谷 文子	
	(株)プローパ	沖 優子	
	(株)千歳観光	高橋 純子	

さらに、「この女性活躍推進フォーラムは、2020年まで

フォーラムを終えて、交流会でくつろぐ



グループディスカッションでテーマを詰める



続けるという強い思いを持って企画運営をしています。2020年までに業界の女性活躍がどこまで進んでいるか、これを本気で団体として後押ししていきます」と付け加えた。

### 5グループが 2つのテーマ

今年度のフォーラムはこのあと、11月13日、来年2月10日に開かれる。参加者（次回から22人）は全3





お互いを知る手始めに名刺交換



真剣に話を聞く参加者たち



サービス接遇検定資格などで講演する大熊氏

回を通して参加し、5グループに分かれて「キャリアアップランニング」「ワークライフバランス」の2つのテーマで企画を練り上げる。2月10日に成果を発表、さらにその企画を持ち帰って自社の風土を変えていくという「風土の後押し」が1つ目の目標となっている。企画の練り上げには、人材育成委員会も同じチームの意識でサポートしていく。出来上がった企画内容を知ってもらうために、最終日には各社の人事部長、総務部長らの幹部クラスを招待し、発表を聴いてもらう予定という。

あと二つの目標として、役立つ資格の取得サポートや実例セミナーの聴講による「実務の後押し」、人脈ネットワークづくりを促進し相互に刺激を受けることで「知の後押し」——が挙げられている。

## 大熊三恵氏講演 接客の在り方

「実務の後押し」のためのセミナーでは、ホールの研修・教育・実践指導を行っているデライト・コミュニケーションズ(株)、大熊三恵氏が「接客検定合格サポート&ビジネスシーンに合わせた印象度アップ」のタイトルで2つの演題に

ついて約2時間の講演を行った。大熊氏は、サービス接遇検定資格についてはその合格へのノウハウ、ビジネスシーンでの印象度アップについては、魅力あるスタッフの接客5原則をわかりやすく説いた。

## 企画や分担など 自社へ報告書も

この後グループディスカッションに移り、5グループは割り振られたテーマについて、実現したい企画を絞り、今後の進め方、役割分担などを協議した。さらに、この日のまとめを行い、自社に提出する報告書を書いた。最後に「知の後押し」として人脈形成のための交流会が開かれ、参加者たちができるだけ多くの人たちとのネットワークづくりに励んだ。

## 人材育成委員会

9月11日  
日本橋三洋グループビル  
出席委員等9人

## 「リクナビLIVE」出展へ 「すごい社会人LIVE」の中止

今年度、就活準備中の学生を対象にしたパチンコ業界のアップロードの「リクナビLIVE」へのブース出展を検討することになった。

当初、今年度は違う行き方として、同じリクルートの「すごい社会人LIVE」のイベントに参加する方向で準備を進めていたが、同イベントの中止が決まったため、改めて「リクナビLIVE」へ照準を合わせるようになったもの。

日遊協は昨年度の「リクナビLIVE」(さる3月7日)に「業界理解セミナー パチンコ・パチスロ編」のブースを出展したが、ブース入場者は251人で前回(2013年度)の603人を大きく下回った。主催者のリクルートキャリアの調べでは、「リクナビLIVE」全体でも前回のイベントに比べ出展社数は525社と倍増したが、来場者は2万261人で微増にとどまり、全ブースでの平均着席数は179人で半数以下に落ちた。

原因として、就職準備期間が6か月から9か月に延びたことにより3月時点で希望業界・企業を定め終えた学生が増えたこと、説明会開催企業が増加したことなど採用マーケットの変化等が指摘された。今年度も「3月解禁」は変わらない状況の中で、リクルートはイベント内容で改良等を考えていくとしている。



## 福祉向け「トレパチ」を視察 社会貢献・環境対策委

# 豊丸産業が開発した「第1号」

社会貢献・環境対策委員会は9月4日、パチンコ機メーカーの豊丸産業(株)(本社・名古屋市中区)を訪問、

同社が高齢者用の医療パチンコとして開発・レンタルしている「トレパチ」を視察した。委員会から薛博夫委員長含め9人、中部支部から山口悟支部長ら2人、オプザバーとして余暇進から田中弘事務局長の計12人が参加した。

説明には、同社未来事業室リーダー、美濃島氏があたった。未来事業室は福祉に貢献するものづくりを担当している部署。

トレパチは同事業室での商品化第1号で、「トレニン」の略。お年寄りが遊びながら脳や体のトレーニングができ、認知症の予防効

果に重きを置いている。

### 封入式でカード利用

トレパチはパチンコ機をベースに、カードシステム、機器構造、ゲーム性などの改良を施した。カードシステムでは、大当たりするとカードを獲得でき、カードを利用した様々な企画に活用可能となる。機器構造については、消音設計した専用球を使うことで静音化対策を施し、循環・簡易封入式にして遊技球に触れないようにした。お年寄りの筋力を考えて、ハンドルはどれだけ回しても玉は常に一定の位置に落ちる。設置台はキヤスター付きで容易に移動・固定ができ、倒れにくい安全設計となっている。

### よく当たるの達成感

ゲーム性については、ボタンで図柄をそろえると大当たりし、チューリップが開いて、一定時間に9個入るとチューリップの開放になる。大当たりの確率は1/30、1/70の2種類。利用者はハララドキドキ感の中に、図柄を

自分自身の手でそろえる達成感を味わい、動体視力、手指の運動等で脳へ刺激を与える仕組みになっている。

現在、東海地方や福岡県近郊のデイサービス施設等でレンタルのサービス提供をし、さらなる改良のための検証をしている。

### 「ずいぶん静かだなあ」

委員会のメンバーや山口支部長らが代わる代わる試打した。一同の一致した感想は「ずいぶん静かだなあ」。また、「ボタンを押して図柄を止めると大当たりする、連打すると本当に大当たりする。これはパチンコ本来の『大当たり』をして楽しい」演出で、非常にいい機能だと思った」という感想もあった。

## 社会貢献・環境対策委員会

9月4日  
本部会議室  
出席委員等11人

### 来年5月の補植を決定 「東松山」立枯れなど成育悪く

東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる林野庁プロジェクトとして、さる6月19、20日に宮城県東松山市矢本地区0・63ヘクタールで行った「日遊協共生の森・東松山」のその後の状況

が報告された。全体に生育が悪く、立ち枯れしている苗が多く見られるため、来年5月に補植することを決めた。来春はこれとは別に、同プロジェクトに基づく新規の植林も予定している。

### デイサービス規制で協議

神戸市や兵庫県でパチンコなどを使ったカジノ型の介護予防デイサービスを条例で規制する動きがあり、パチンコ・パチスロでの認知症予防・治療の検討に水を差されないように、対策を話し合った。脳への効果など、リハビリ活動でのプラスの効用をもっとPRしていくべきとの意見が出された。

### 今秋、ベトナムを研修視察

ホールでの外国人労働力の活用を念頭に、委員会として今秋、ベトナム視察旅行を行うことを確認した。今後わが国の労働人口が減少していく中で、ホールでの新卒者の確保がますます難しくなることから、外国人労働力の活用について今から調査・研究していきたいとしている。今回はホーチミン市、ハノイ市で日本語学校などを視察、日本とベトナムが連携して進めている留学制度、就労制度を見学する。



## WEBメディア情報交換会

### 「視点の違いを活かす」福山委員長

広報調査委12人、メディアから13人

広報調査委員会とWEB関係者との「WEBメディア情報交換会」が9月4日、本部会議室で開かれた。委員会から12人、WEBメディアから8社(7サイト)13人が出席した。

情報交換会の目的は、ファンと一番近いメディアとより良い関係づくりを行い、メディアを通じて日遊協及びパチンコ・パチスロ業界の発信力を強化すること。8月には同じ趣旨でファン雑誌との情報交換会が開かれたばかり。

福山裕治委員長は「われわれとWEBメディアの皆様とでは視点が違うところがあるので、皆様のご意見を聞くことは、業界全体の広報を盛り上げていくために必要なことだと思います。またメディアの皆様にもっと日遊協を知っていただきたい。忌憚のない意見交換をしましょう」と述べた。

#### 「ヘビーだが依存とは」

今回の主要テーマは「依存問題への対応」。メディア側出席者は、

ほぼ全員が共通標語「パチンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです。のめり込みに注意しましょう」を知っていたが、「パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドライン」については、知らない人のほうが多かった。

サイトを訪れるファンについてメディア側から、「ヘビーだが、のめり込んでいくようには見えない。毎日ホールに行くかも知れないが、日常生活は問題なくやっている。



WEBメディアを招いて開かれた情報交換会

純粹に楽しんで、マニアックに追求されている。そういう楽しさは一般社会には伝わらないと思う」という意見があった。

パチンコの楽しさを中継するサイトの性質上、番組で依存問題を取り上げるとは少ないが、「一般視聴者向きのサイトではないが、社会貢献も考えていこうと役員会議で決定したばかり。スポットなどで率先して協力したい」という声もあった。

#### 疑似体験を体験へ

また、「うちのメインユーザーは20代後半から30代が多い。動画を見る目的は、1つは勝ちたいという意欲からの攻め目的、もう1つは疑似体験。1回3万円ぐらいでも負けると痛いから、ホールに行かないで動画を見て疑似体験する人は多い。パチンコ人口は減っているというが、うちは日に日に100人以上ずつ増えている。ということに興味ある人が多いという。デジタルの中で疑似体験している人たちが1回リアルな現場に連れてきて、そのうち何%かホールに定着すれば、「面白い流れが作れるんじゃないか」という感想もあった。

□WEBメディアの出席者

(順不同・敬称略、(株)略)

(社名の後のカッコ内はサイト名)

- プロテラス(ニコナナ) 沼間揚舟
- 池和将▽ニフティ(777@nifty) 〃
- 宮代伸介、西慶一郎▽ゲンダイエージェンシー(パチ7) 〃大石大▽style社(一撃) 〃原知生▽パック・エックススインベーション(一撃)
- 〃小林泰己▽湘南エージェンシー(V-PRESS) 〃鈴木一幸、木上直紀
- ▽ライブエージェント(Bash TV)
- 〃福元勝敏、椿陽介▽NEXT advance(Fun TV) 〃吉田大我、外川卓

### 広報調査委員会

9月4日  
本部会議室  
出席委員等12人

### 「業界の取組み」内容検討

日遊協ホームページに掲載する予定の、「業界の取組み」の記述内容を検討した。記述は第3回定例理事会へも提出され、意見を聞く。

「業界の取組み」は社会からの理解を得ることを目的に、パチンコ業界の情報を発信していく企画Q&A形式で、業界の歴史、地域社会との関わり、ビジネスの仕組み、業界団体、風営法との関わり等、内容は多岐にわたる。